

1 研究主題

「確かな学力をはぐくむ指導のあり方
～児童の意欲を生かした学習活動を通して～」

2 主題設定の理由

- (1) 今日的課題から
- (2) 杜の都の学校教育との関連から
- (3) 本校の教育目標との関連から
- (4) 児童の実態から
- (5) 昨年度の成果と課題から

教育目標

「『広く明るくたくましい子ども』の育成」

昨年度の成果と課題から

教師一人一人が、各教科・領域の特質と発達段階を踏まえながら、個人研究を中心とした研究に取り組み、子どもたちの学びを深めることができた。

3 研究の基本的な考え方 「確かな学力」について

「確かな学力」の三要素

- 基礎的知識（基礎的な知識及び技能）
- 応用力（知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等）
- 学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）

※ この三要素は、学校教育法第30条第2項に、小学校及び中学校の教育において「特に意を用いなければならないもの」として規定されているものである。

※平成22年度 杜の都の学校教育 より引用

4 研究のねらい

確かな学力をはぐくむ指導のあり方を、各教科・領域の指導を通して探る。

5 研究の視点

確かな学力をはぐくむ指導のあり方を、教師一人一人が、各教科・領域の特質と発達段階を踏まえながら、授業の実践を通して探る。

6 研究組織

① 研究全体会

全職員で構成し、研究の方向性について共通理解を図り、実践についての情報交換と研究授業の協議を通して実践上の諸問題の解決を図る。

② 学習部会

年間計画に基づき、研究を推進する。